学校番号	119

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭総合「明日の生活を築く」（開隆堂出版）						
副教材等	スーパーライブビュー（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○自分の家庭生活について興味や関心をもち、よりよい生活につながるよう取り組みましょう。
・家庭生活に関係する様々な内容に対して、知識を身に付け、理解を深めます。
・家庭生活の様々な課題については、自分で考えてみたり、グループで考えを共有したりして、よりよい家庭生活の営み方を考えます。
・実習や実験、視聴覚教材などから、知識や技術を体験的に身に付けます。
・これらの学習を通して、自分の家庭生活が豊かなものになることをめざします。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 発表 自己評価　等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 製作物 実技テスト 発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 発表 定期考査の結果　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	食べる	○人間と食べ物 ＊自分の食事を振り返る ○食品と栄養 ○食品の衛生と安全 食中毒衛生管理 ○食事を調える ＊献立作成 調理の基礎 ＊調理実習 リンゴケーキ 防災調理 エコな介護食 ＊食品実験・実習 ○これからの食生活	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a：自分の食生活を振り返り，学習した内容を自らの食生活に活用しようとする意欲をもって学習に取り組んでいる。 b：環境に配慮した食生活の在り方（食品廃棄）について課題解決に向けて考え、工夫している。 c：主体的に食生活を営むために必要な栄養、食品の選択、調理、食生活の管理などの技術を調理実習を通して身に付けている。 d：栄養、食品、調理、食品衛生等について、実験や実習を通して科学的に理解し、食生活に必要な知識を身に付けている。	授業観察 プリント ワークシート 定期考査 レポート 実習記録
		○高齢者とかかわり理解する ○高齢者の生活と課題 ＊高齢者に聞く ○人間の尊厳とケア ＊高齢者体験 ＊高齢者介助体験 ○高齢社会の福祉	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a：高齢者について関心をもち、学習に取り組んでいる。 b：高齢者の自立を支えるために必要なことは何か，具体的に考え、まとめている。 c：高齢者との関わり方を身に付け、日常生活に必要な基礎的な介助ができる。 d：高齢者に関する心身の特徴や生活、高齢者福祉に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。	

		1学期期末考査		○	○	○		定期考査
		ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 バランスのよい弁当作り 個人調査研究・発表 レポート展示	○	○	○	○	a：家庭科で学んだ知識・技術等を自らの生活に役立て，主体的に学習に取り組もうとしている。 b：生活の課題を見つめ，課題意識をもって、生活の改善向上をめざして考え、工夫している。 c：テーマや計画に沿って活動を実践できている。 d：ﾎｰﾑﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。	授業観察 レポート 製作物 発表 自己評価 相互評価
2 3	子どもの発達と保育・福祉	○子どもの発達と生活 ○子どもとかかわる ＊子育て経験者に聞く ＊しつけを考える （親教育教材） ○認定こども園実習 発達段階に応じた絵本つくり ○親の役割と子育て支援 ＊「叱る」を体験する ○子どもの権利と福祉 ＊地域の子育て環境を知る	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a：子どもの発達・保育・福祉について関心をもち、実習を通して主体的に学ぼうとする意欲や態度がみられる。 b：子どもに関わる課題や問題について，メディアからの情報についてその原因や対応について考え、まとめることができる。 c：子どもの心身を健全に育む技術を身に付けている。 d：子どもを育てるために必要な知識を身に付け，社会的支援の活用についても理解している。	授業観察 プリント ワークシート 定期考査 レポート 実習記録 発表
		3学期期末考査		○	○	○		定期考査

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現
c：技能　d：知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。